

学校と家庭と地域の連携・協働を通じて、

子供たちの体験活動を考える

防府市立牟礼南小学校育友会

P T A 名称	防府市立牟礼南小学校育友会	学校写真 
所在地	山口県防府市大字江泊1361	
学校地域の 概要・組織	本校は、山口県の中中部、防府市の東側、牟礼地区に位置しており、昭和57年に牟礼地区の急激な人口増加のため、児童数1,700名の牟礼小学校より分離し新設された学校で、児童数315名、本年度開校40周年を迎えました。校区内には、旧山陽道浮野峠があり、古来より交通の要衝であったと伝えられています。地域の方が「旧山陽道を歩く会」を開催されるなど、地元の歴史や様々な行事を通して、同じ牟礼地区にある牟礼小学校や牟礼地域関係機関との交流活動が盛んです。 本校育友会では「一家庭一活動」として、全家庭が学校活動や地域活動に参加しています。おやじ会も活動が盛んで、学校や地域からの様々な要望に対応して頂いています。歴史の浅い学校ではありますが、地域とともにある学校を目指して、学校とともに取り組んでいる育友会です。	
研究テーマ	コロナ禍でもできる育友会活動の在り方や活動内容を探りつつ、本年度は「学校と家庭と地域の連携・協働」をテーマに設定し、子供たちの大切な経験の場が失われる事がないように、充実した育友会活動を目指して行うこととする。	
成果と課題	〈成果〉 ○「どきどきワンダー」では、地域で活躍される皆さんと協力しながら、児童は様々な体験活動を経験することができた。さらに、育友会理事会にて協議を重ね、中止とすることなく、例年とは全く違う形で催行することができたのは大きな成果。 ○「防災ファミリーキャンプ」では、親子で一緒に防災学習や野外体験活動を行いながら、学校だけ家庭だけではできない、子供たちが意欲的に楽しく取り組める、おやじ会ならではの体験学習活動を行う事ができた。 〈課題〉 ○コロナ禍にて例年とは違う形での行事の為、学校や理事会、地域の方々へ企画意図を伝えることに苦労があったが、催行後にはこのような企画を継続して欲しいとの要望が多く、コロナ終息後にどのような形で学校行事や育友会行事に組み入れられるかが課題。	

○「どきどきワンダー2021～地域体験版～」の実施

本校育友会の主行事に育友会バザーを毎年11月に行っています。コロナ禍の中、昨年度よりその活動ができず、代わりに感染拡大防止対策を行った上で、学校の授業として全児童を対象とした体験型イベントへ移行しました。本年度も当初よりコロナ禍の影響が予測できたため、バザー形式は中止し、「学校と家庭と地域の連携・協働」をテーマに「どきどきワンダー2021～地域体験版～」を6月より企画、理事会・参加団体と協議を重ねて準備を進めて来ました。

11月20日(土)、当日は感染拡大防止対策を実施し、児童315人はたてわり班にて行動、保護者参観の中、学校内に設置した6ブースをウォークラリー形式で移動、1ブース20分間、全体で2時間超の様々な体験活動を行うイベントを行いました。

①春日鬼太鼓体験

防府市牟礼の春日神社にて演奏活動をしている春日鬼太鼓さんより、牟礼地域の歴史や春日鬼太鼓のお話、会員30名による演奏の観覧後、実際にリズムに合わせて太鼓に触れ合う体験の様子。



活動内容



②キャンプクラフト体験

山口県内にて様々な野外体験活動をしている山口県キャンプ協会さんより、野外体験活動やキャンプのお話、テント見学や、キャンプや災害時に役に立つ、折り紙の技法でつくる、紙皿作り体験の様子。

③避難所体験

防府市防災危機管理課の職員さん、牟礼地域防災士さんに、牟礼地域の災害のこと、防災の大切さのお話、避難所である小学校の防災倉庫にある設備・物品の展示や利用体験、作った紙皿で備蓄食料を食べてみるなどの体験をした。





④消防車の放水体験

防府市消防本部の職員さん、牟礼分団の消防団員さんに防火のお話や学校プールより取水した消防車にて、車両や放水訓練の様子を見学したり、実際にホースをもって放水体験をした。

⑤積み木体験

防府市牟礼地域にて青少年へ様々な活動をされている牟礼青少年育成連絡協議会さんより、活動のお話や大工さんの端材で作った積み木を使って、児童が自由に積んでみる体験を行った。協力する班もあればそうでないところもあり、子供たちの自由な発想を感じられる体験だった。



⑥バケツリレー体験

育友会おやじ会の皆さんより、早く火を消せ！バケツリレー大会♪を企画して頂きました。うまく火点に水をかけられなかったり、持ち方などバケツの扱いに苦労しながら、みんなで協力しながら体験をした。

当日は天気も良く、感染状況も落ち着いており、地域で活躍される皆さんと協力しながら全児童に様々な体験活動が無事に実施することができた。参加・参観保護者の方や学校の先生方にも地域の方々が行っている様々な活動を共有することができ、コロナ禍でありながら児童・保護者・学校・地域の方との交流が深まったイベントとなった。

○「学校ですごそう！防災ファミリーキャンプ」の実施

本校おやじ会の皆さんは、ボランティアに熱心な方が多く、活動は活発といえます。おやじ会が中心となって企画準備を進めていたが、コロナ禍にて日程の変更、参加人数や規模の縮小を経て、12月18日(土)に感染拡大防止対策を行い、デイキャンプとして参加者5家族15名にて催行した。

参加者には参加ミッションに非常持ち出し袋を持参することや避難路を通して来校することなどを設定し、親子で防災について考えることを促した。

防災講座では、講師の防府市防災危機管理課八尾さんより、通学路の身近な危険の事や天気が急変するときの事、非常持ち出し袋はどのようなものを準備すると良いか、家族でどこにどのように避難をするか、さらに



ペットと一緒に避難するときの注意点など、家庭や親子で様々なケースを考えながら防災の話し合いを行う事の大切さを学びました。



野外活動では、山口県キャンプ協会の池田さんに指導をして頂きながら、それぞれ親子にて協力し、テントを活用した拠点づくりや炊き出し体験(野外炊飯)を行った。テント設営や火おこし、飯ごう炊飯は子供たち

ちに人気で、保護者も一緒になって、上手くできないことも楽しみながら体験をしていた。

コロナの影響にて、避難所である学校に宿泊することはできませんでしたが、初めての火起こし体験やテントに初めて寝ころんだなど、防災ファミリーキャンプにて、親子で一緒に感動し、家族の絆の深まる体験学習イベントとなった。